

1月7日

消防出初式



4



5

4 __ 24分団、350人が式典会場へ向けて分列行進を行い、見事な行進を披露。5 __ 式典の最後には消防車6台による一斉放水が行われ、防火・防災への意識を新たにした。

調川町 鬼火たき



6

6 __ 同町松山田地区の有志によって行われていたものを調川地域まちづくり運営協議会「調創会」が受け継ぎ行われた。地域住民らは高く燃える炎を見上げ、無病息災を祈った。

1月6日

松浦魚市場初セリ



1



2

1 __ 早朝5時威勢のいいセリ人の掛け声で今年のセリが始まった。2 __ 2階の入札室などでもセリが行われ、合計398トンの魚が水揚げされた。

星鹿町 もぐら打ち



3

3 __ 小学生までの子どもたち13人が2班に分かれて約100戸の家をまわり、班ごとに異なる囃子詞はやしことばを唱えながら玄関の床をたたいてまわった。

1月11日

大般若



10

10 __ 志佐町や福島町の一部の地区で受け継がれる伝統行事。志佐町里地区では、還暦を迎える赤間光孝さんが經典の入った箱を担ぎ、吉本美子さんが玄関先を海水で清め 250 戸以上の家をまわった。

1月12日

上志佐小学校 もぐら打ち



11

11 __ 松本秀雄さん（志佐・笛吹）を講師に迎え、同小1・2年生 16 人が体験。みんなで声を合わせながら、「14 日のもぐら打ち、餅やらんもんはしわんぼう…」と囃子詞はやしことばを唱えグラウンドを 1 周たたいてまわった。

取材できたもののみ掲載しています。

1月8日

武道始め式



7



8

7 __ 太極拳協会の丸尾正之さんが「心と体の調和を目標に鍛錬を頑張りたい」と新年の抱負を述べ式典がスタート。8 __ 4 団体、約 40 人が演舞を披露。空手道では形の披露のほか板割りが行われ、抱負を叫びながら思いを込めて板を割った。

志佐・庄野地区 百手講



9

9 __ 今年には本山孝太郎さん、猪口晃さんが地域住民が見守る中射手を務めた。前半、イタビの木で作られた弓の加減に慣れるのに苦戦したが、後半たたみかけるように的を射ぬき、50 本中 8 本の矢が的中した。